



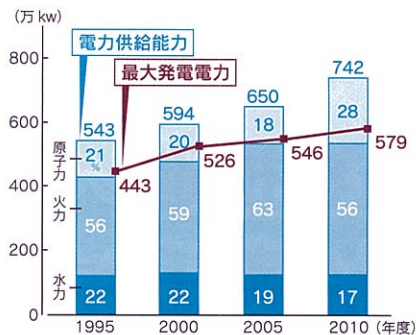
自然エネルギーの推進で 原発止めよう!

STOP! 原発!

✓ 泊原発は段階的な運転停止を!

1号機は2029年、2号機は2031年に原発耐用年数といわれる40年を迎えます。
(事故を起こした福島原発1号機は、今年3月26日に建設から40年を迎えた老朽原発です。)

北電の電力供給能力と最大発電電力



※割合は小数点以下を四捨五入したため合計が100%にならない

北電の電力供給能力は 742 万 kw。泊原発 1～3号機 (207 万 kw) をすべて停止すると供給能力は 535 万 kw。最大発電力は 579 万 kw (2011 年 1 月) であることから、泊原発の発電を止めると約 40 万 kw の電力が不足します。

これって自然エネルギーや節電でなんとかかなりそう!

こんなにある、循環可能な「自然エネルギー」による発電!

- 太陽光発電～最も研究が進んでいる!
- 水力発電～ダム式の他にも水路式、風車式発電が!
- 風力発電～世界的にも注目の発電!
- 波力発電～日本の周りは波が無限!
- 地熱発電～時間帯、気候を気にしない!

※この他にも太陽熱発電やバイオマス発電など、実用化にむけた研究が想像以上に進んでいます。

原発の隠れたコスト

「原発は他のエネルギーよりも安価で安全」と言われてきました。たしかに原子力発電の方がコストが安く表示されていますが、この中に公的資金（開発費用や立地費用→当然このなかに原発建設周辺地域への交付金も入ります）や事故の時の被害補償に要する費用は含まれていません。

公的資金や国として行う被害補償というのは、結局は私たちの税金から支払われているのです。

プルサーマル廃止、脱原発が進む世界の国々

プルサーマルを推進してきた世界各国でも、プルサーマル廃止や脱原発の動きが広がっています。今回の原発事故を受け、ドイツはいち早く国内の原子炉全廃を早期に実現する方針を決めました。各国で風力や太陽光、水力などの自然エネルギー発電への転換が進められています。

貴重な財源を自然エネルギーの開発に回す方がはるかに建設的!

電力会社は、これまで自然エネルギーによって発電した電力を、採算ベースに合わない、技術開発の足を引っ張るような価格でしか買い取って来ませんでした。

今こそ方針転換をすべき時!